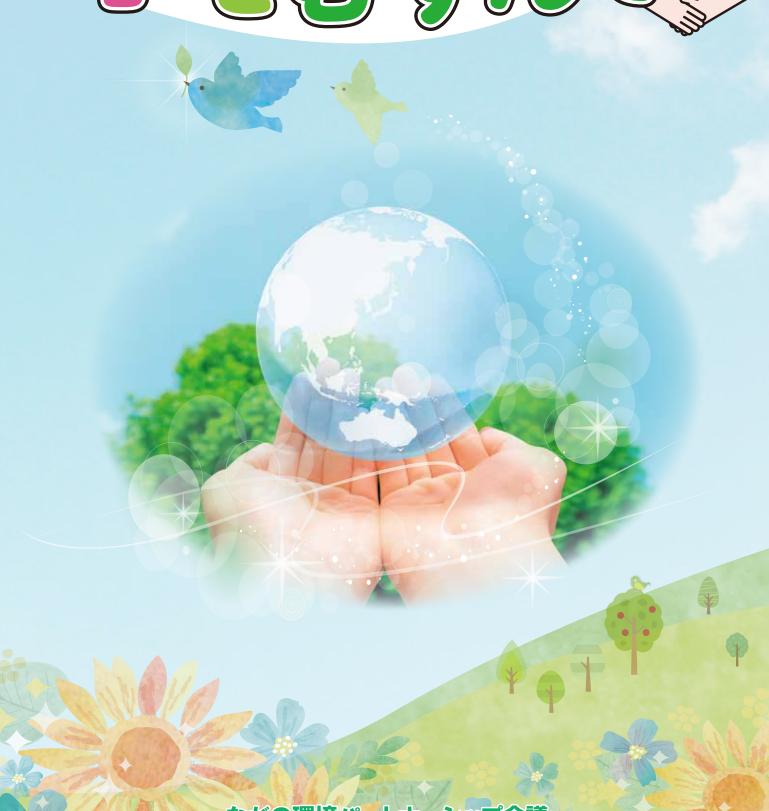


ながの環境パートナーシップ会議 平成29年度活動成果報告書





ながの環境パートナーシップ会議



# 活動成果報告書の発行に寄せてながの環境パートナーシップ会議

1992(平成4)年、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた「地球サミット (環境と開発に関する国連会議)」で、持続可能な発展のための人類の行動計画「アジェンダ21」が採択されました。これを受けて、世界中の地方自治体で住民参加のもと、地域行動計画「ローカルアジェンダ」づくりが行われました。

長野市では、2003(平成15)年に、ながの環境パートナーシップ会議と協働で「アジェンダ21ながの一環境行動計画―」を策定し市民・事業者・行政の協働により地域の環境保全活動を進めています。全国のアジェンダが活動を休止している中で、ながの環境パートナーシップ会議は困難を乗り越え継続発展をしてまいりました。

プロジェクトチーム、会員が減少傾向にありましたが2016(平成28)年度以降は新しいプロジェクトチームの発足や、プロジェクトチームにパートナー事業者として参加支援していただけるようになり、チーム活動の新事業の立ち上げなどと合わせ、ながの環境パートナーシップ会議に新風が吹き込み会員増加傾向への転換の期となりました。

また、2015(平成27)年9月「国連の持続可能な開発サミット」が開催され、193の加盟国首脳の参加のもと、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」・SDGs 【Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)】が採択され、2030年に達成すべき17の目標が掲げられました。私たち、ながの環境パートナーシップ会議でも、SDGsの趣旨のもと、一人ひとりが身近にできることを考え、行動するための活動を広げていくことを目的にしています。この活動を通じて長野市の目指す姿「幸せ実感都市ながの:"オールながの"で未来を創造しよう」と合わせて、より多くの市民・事業者・行政の方々が参加され、環境先進都市づくりのため、この活動報告書が新たな情報発信源として、より多くの仲間に参加いただけることを願い発刊することができました。

平成30年10月 ながの環境パートナーシップ会議 代表理事 金井 三平

# 目次

活動成甲却生津に安けて

| 加到以木形口目に可じて<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
|---|
| ながの環境パートナーシップ会議の概要 1                                |
| ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介 … 3                            |
| 第7回ながの環境団体大集合の開催報告 4                                |
| 生ごみ削減・再生利用プロジェクト 10                                 |
| レジ袋使用削減プロジェクト                                       |
| 市民の森づくりプロジェクト14                                     |

太陽エネルギー普及促進プロジェクト ………… 16 ながのカーボンオフセットプロジェクト ……… 17

| 子どもの環境学習支援プロジェクト               | 18 |
|--------------------------------|----|
| 小生物の育成環境保全プロジェクト               | 20 |
| ぽんすけ育成プロジェクト                   | 22 |
| ゴマシジミ保護・育成プロジェクト               | 24 |
| 信州大学工学部環境演習における活動報告            | 26 |
| プロジェクトサポーター事業者との<br>コラボ事業を紹介   | 28 |
| 新聞記事等で見る<br>ながの環境パートナーシップ会議の活動 | 29 |



ながの環境パートナーシップ会議は、市民 · 事業者 · 行政が連携し、 長野市環境基本計画を推進するための組織として、平成13年6月に設立、 具体的な実行プロジェクトとして 「アジェンダ21ながの一環境行動計画―」に基づき、 「長野市環境ビジョン」実現のため、

各プロジェクトチームが環境保全活動に取り組んでいます。



### イメージキャラクター **キラピー**

山の緑も川の水も空の星も 人の心も、長野市中の環境も 人も未来もキラキラと輝き、 生き生きと暮らせるように、 という願いが込められています。

## アジェンダ21と ながの環境パートナーシップ会議

### アジェンダ21ってなに?

「アジェンダ(Agenda)」は日本語で「課題」、つまり、「アジェンダ21」で「21世紀への課題」という意味です。

1992年(平成4年)、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミット(環境と開発に関する国連会議)で、21世紀に向けて持続可能な発展のための人類の行動計画である「アジェンダ21」が採択されました。

これまで、私たちは大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムの中で、今日の豊かな社会を築いてきました。しかし、その一方で、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の環境問題や資源の枯渇といった人類の生存に関わる問題を引き起こしてきました。この「アジェンダ21」では、これらの問題に対処し、持続可能な社会を実現するための国際機関、国、国民、事業者など様々な立場の人々が取るべき行動として40の分野、1,000以上の行動が示されています。

また、持続可能な社会を実現する鍵が地域にあるという考えから、国連が世界中の地方自治体に対して地域版のアジェンダ21、すなわち「ローカルアジェンダ21」の策定を求めることとなったのです。

### 「アジェンダ21ながの」を実行するながの環境パートナーシップ会議

ながの環境パートナーシップ会議は、長野市とともに長野市版ローカルアジェンダ21である「アジェンダ21ながの一環境行動計画―」を策定、これに併せて自然と人間の共存を軸に本市の理想の環境像を描いた「長野市環境ビジョン」も定めました。



本会は、アジェンダ21ながのや環境ビジョンを実現する組織として複数のプロジェクト活動を推進しています。

### ○長野市環境ビジョン

山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの

せいれつ

豊かな山々には人の手が入り、林は清冽な水を生み、里山、田畑、水辺には多くの生き物が息づいて、豊かな恵みを与えてくれる。

まちには、木々が茂る安らぎの空間、水が流れる潤いの空間、すがすがしい 風のなかを、人々がゆったりと安心して行き交う空間、自然に調和した街並み がある。そこに、地球の恵みを大切にしている市民のくらしがある。

長野の環境を保全、復元、創造し、未来に引き継いでいこうと、ともに知恵を絞り、汗を流す多くの市民がいる。そして、市民の行動を支える仕組みがある。





# 少ながの環境パートナーシップ会議の

# 活動を紹介します

本会は、「つなぐ」・「伝える」・「行動する」を念頭に、長野市環境ビジョンの実現に向けて各プロ ジェクトチームが環境保全活動に取り組んでいるほか、各種団体事業を支援しています。



※信州大学環境演 習の報告につい ては、26~27 ページをご覧く ださい。

本会会員やより多くの団体とのつながりを強化するため、総会の開催及び各種団体の活動 を支援しました。







※ながの環境団体 大集合の開催報 告については4 ~9ページを ご覧ください。

本会の活動を広く情報発信するため、主催事業の開催や他団体のイベントに参加しました。







### 行動する



※各プロジェクト チームの活動報 告については、 10~25ページを ご覧ください。

各プロジェクトチームが様々な環境保全活動を実施しました。













7 回 ながの環境団 を次世代へつなげるアプロ

-0

第

# UNIGIBIEバートナーシップ会議 長野市内の多くの団体や企業等では、持続可能な社会を目指すため 環境活動に取り組んでいます。そこで、この環境活動を次世代へ伝え

るとともに、団体、企業相互の交流・協働のきっかけとするため「次世 代へつなぐ環境活動アイデアコンテスト」を開催したほか、展示ブー スにおいては、ポスターセッション等を行いました(23団体等が参加)。 また、マイバッグふぇすたや信州こども応援ドライブ、フードドラ イブを同時開催しました。

詳細は次ページ以降をご覧ください。

 $\blacksquare$ 

開催日時 平成29年12月16日 土 13時~ 16時30分 場 長野市生涯学習センター 4 階 大学習室



 $\blacksquare$ 

 $\blacksquare$ 



 $\blacksquare$ 



### 次世代へつなぐ環境活動アイデアコンテスト

各団体、企業、学校等が行っている環境活動をアピールするとともに次世代へどのようにつなげていくのか、 その方法についてのアイデアをコンテストしました。なお、審査委員長に信州大学工学部教授の高木直樹氏 が就任、審査員には公募による若者の皆さんが務め、活動発表に対して「夢があるでしょう」、「つないでい くべきで賞」など、若い世代のセンスあふれるユニークな表彰を行いました。





各団体等の発表者は、パワーポイントを活用しプレゼンしました。 また、審査員や来場者からの鋭い質問や専門的な質問が飛び交いました。



▲質問に答える発表者



▲プレゼンに聞き入る審査員や来場者の皆さん



▲審査委員長からの鋭い質問が…



▲高校生の皆さんが活動発表

### 審查風景

-0



### 審査員を務めていただきました皆さん

- ★審査委員長:高木直樹氏 信州大学工学部教授
- ★審査員(市民より公募・16~30歳):**18名**

長野県長野高等学校学生(2名)

第一学院高等学校長野キャンパス学生(2名)

長野県長野東高等学校学生(3名)

信州大学教育学部学生(2名)

信州大学工学部大学院院生(2名)

信州大学工学部学生(1名)

会社員(1名)

長野市役所職員(5名)

審査方法

審査員の5点、3点、1点の持点による投票を集計し、各賞を決定しました。



## 受賞団体代表の皆さん、おめでとうございました





### コンテスト 受賞団体を 紹介します

| 審查委員長特別賞     | NPO法人 NPOホットライン信州   |  |
|--------------|---------------------|--|
| 夢があるで賞       | 生ゴミ削減・再生利用プロジェクトチーム |  |
| 私たちもやってみたいで賞 | ライトダウンながの実行委員会      |  |
| 想いが伝わったで賞    | NPO法人 みどりの市民        |  |
| つないでいくべきで賞   | 小生物の育成環境保全プロジェクトチーム |  |



-0

















# ポスターセッションなど

団体、企業、学校相互の交流・協働のきっかけとなることを目的に、ポスターセッションを行ったほか、 環境クイズを通して楽しく学び、環境について考えてもらうため、P会議環境スタンプラリーを実施しまし た。また、本会のレジ袋使用削減プロジェクトチームが主催する「マイバッグふぇすた」やご家庭で利用され ない食品・学用品等を寄贈していただくフードドライブ及び信州こども応援ドライブを同時開催しました。

### **→** ポスターセッション・P会議環境スタンプラリー



▲各展示ブースでポスターセッション



▲スタンプラリーの商品交換所

### ✔️ フードドライブ・信州こども応援ドライブ

たくさんの寄贈がありました。ご協力ありがとうございました





### ✔ マイバッグふぇすた



▲51点の作品が展示されました



▲オリジナルマイバッグ作成体験コーナー

# 参加団体一覧 (コンテスト発表順と発表・展示内容)

| 順番 | コンテスト参加団体名                     | 発表・展示の内容   |  |
|----|--------------------------------|--|--|
| 1  | 市民の森づくりプロジェクト                  | 市民の森(スパイラルの森)での活動内容を紹介<br>自作かんじき等の展示                   |  |
| 2  | ライトダウンながの実行委員会                 | ライトダウンキャンペーンの活動紹介<br>キャンドルナイトデーの提唱とキャンドルをプレゼント         |  |
| 3  |                                | 3 Dプリンターを使って製作した作品発表<br>「課題研究(3 Dプリンター)」授業の成果発表        |  |
| 4  | 小生物の育成環境保全プロジェクト               | 「信州松代千本桜大作戦」 3 年間の活動について発表<br>マツシロベニエドヒガンの 3 年間の育苗作業報告 |  |
| 5  | 子どもの環境学習支援プロジェクト               | 第6回国際ユース環境会議を報告<br>本会議のねらいや過去の成果等を展示                   |  |
| 6  | 長野県長野工業高等学校 機械科                | 3 Dプリンターを使って製作した作品発表<br>「課題研究 (3 Dブリンター)」授業の成果発表       |  |
| 7  | 信州水環境マップ・ネットワーク                | 次世代へ広げよう!全国一斉水質調査について発表<br>水生生物を通した水質調査を報告             |  |
| 8  | 長野県更級農業高等学校<br>環境科学コース         | 「めざせ循環型社会!」更農高が考える廃棄物の再資源化を<br>テーマに発表                  |  |
| 9  | 株式会社ミールケア<br>いきものみっけファームinながの  | 「いきものみっけファームinながの」の活動を報告                               |  |
| 10 | 聖山自然復元プロジェクト                   | 聖山自然復元プロジェクト活動の目標と到達点について発表、次世代の若者たちとの協働作業を紹介          |  |
| 11 | レジ袋使用削減プロジェクト                  | レジ袋いりませんを当たり前にする啓発システムづくりを<br>紹介、マイバックふぇすたを開催          |  |
| 12 | NPO法人NPOホットライン信州               | 信州子どもの居場所づくり応援リレーで食品・学用品等を<br>受付、子ども食堂の取り組みを紹介         |  |
| 13 | 長野県長野工業高等学校<br>環境システム科         | 3 Dプリンターを使って製作した作品発表<br>「課題研究 (3 Dプリンター)」授業の成果発表       |  |
| 14 | 太陽エネルギー普及促進プロジェクト              | 過去の活動内容を紹介<br>キクラゲソーラーシェアリングの提案                        |  |
| 15 | NPO法人みどりの市民                    | 「エシカル消費のすすめ」について発表<br>エコサロン及び手作り化粧品の紹介                 |  |
| 16 | 生ごみの削減・再生利用プロジェクト              | 啓蒙活動から若者を取り込むフィールド活動<br>2016年からの活動報告と未来のイメージ図を紹介       |  |
| 17 | ゴマシジミ保護・育成チーム<br>(浅川地区住民自治協議会) | ゴマシジミの保護活動等を紹介、次世代へつなぐツールの<br>紙芝居「がんばれ!!ゴマシジミ」を披露      |  |
| 番号 | ブース展示のみの団体名                    | 展 示 の 内 容  |  |
| 1  | NPO法人フードバンク信州                  | フードバンク信州の活動実績を報告<br>フードドライブを実施                         |  |
| 2  | 希少種の会                          | ニホンライチョウの絶滅危機の原因を紹介<br>絶滅危惧種のシナイモツゴ(淡水魚)を展示            |  |
| 3  | 母さんの玉手箱本舗企業組合                  | 竹林整備で伐採した竹を粉砕して竹チップ、パウダーの製<br>造を紹介                     |  |
| 4  | 株式会社八十二銀行                      | 八十二銀行の環境保全活動を紹介(「八十二の森」での活動<br>やアレチウリ駆除活動、エコロジー店舗など)   |  |
| 5  | ぽんすけ育成プロジェクト                   | ぽんすけ(シナイモツゴ)の保護活動及びぽんすけによる<br>地域の活性化を紹介                |  |
| 6  | 信州大学工学部環境学生委員会                 | 次世代へつなぐ環境ゲームソフトを紹介                                     |  |

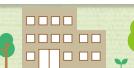














## スペシャルプロジェクトメンバーの若者の皆さんから



第7回ながの環境団体大集合のスペシャルプロジェクトメンバーとして企画から運営まで携わった 4人の若者の皆さんから一言感想をいただきました。

第7回ながの環境団体大集合、大変お疲れ様でございました。大学生の皆さんとスタンプラリーの企画に携わらせて頂き、大変貴重な経験をすることができました。また、渡辺さんはじめ環境活動の第一人者の方々との運営の機会を頂き、大変勉強になりました。今回、経験させて頂いたことと、初めて知ることができた環境活動を今後へ活かしていきたいと思います。ありがとうございました。



**今井 有見** 長野市ボランティアセンター コーディネーター



ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクトメンバーの若い 4 人で 企画したスタンプラリーを多くの人に楽しんでもらいつつ、環境について 学んでもらうことができて良かった。また、長野の多くの環境団体の発 表やお話を聞くことができ、環境に対する考えが深まった。これからの 大集合ではもっと多くの環境団体や市民(特に若い世代)に参加しても らい、長野の環境活動を盛り上げる場として発展していけたら良いと思っ



長房 伸弥 信州大学生 [環境機能工学科 3 年生]

普段知らない環境団体の活動を学べたこと、いろんな年齢層の人と交流できたことがこの活動に参加してよかったことです。パートナーシップ会議で知り合った方と、その後たけのこ収穫の手伝いに行くほど自分の交流の輪が広がったように感じます。運営してみての感想ですが参加者にはもっと活発に話し合ってほしいと感じます。そのためには発表をなくし、参加者、出展者が交流しやすい空間作りが必要だと思います。各ブースでスタンプラリーをするのはどうでしょう。来年度も楽しみにしています。



**木山 将宏** 信州大学生 [環境機能工学科 3 年生]

5月から毎月1回ずつ企画会議を重ね、当日も運営に携わることが できたのは貴重な経験でした。

第7回ながの環境団体大集合では、学生を中心に企画した「P会議環境スタンプラリー」を行い、多くの来場者の方に参加していただけました。問題を考えたり、景品を選ぶのは苦戦しましたが、自分自身も環境について改めて学びながら企画・運営ができたのは非常に良い部分であったと思います。



**酒井 佳菜** 長野県短期大学 1 年生



※氏名の下の肩書は当時のものです。

# 生ごみ削減・再生利用 プロジェクト

生ごみを 減らす活かす 市民の力で

# 生ごみ削減キャンペーンの継続と キッズ生ごみ農園の発展

29年度の主な活動として私たちのチームは、これまでも住民自治協議会と協働で行ってきた生ごみ削減・再生利用講座において「生ごみ堆肥化実践学習・生ごみを出さないお料理教室」、また、信州環境フェアとアモーレフェスタによる「展示・販売・クイズ・楽しい生ごみ教室」を実施。そして、「キッズ生ごみ農園クラブ」会員の生ごみ回収と堆肥化及びその堆肥を利用した野菜作りを実践し、「収穫祭・生ごみと野菜の交換市・軽トラ市」を実施しました。

STATE OF THE STATE

これらの活動により、キッズ生ごみ農園クラブの会員が3家族から12家族と増え、収穫祭の参加者もサポーター 事業者の協力があり、70名と大幅に増加しました。今後は「子供のための一坪農園」を市民に定着させたいです。

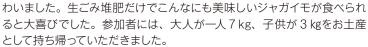
### 主な私たちの活動を紹介します



### 夏の収穫祭を盛大に実施

8月6日、サポーター事業者(浄掃組合)と一般から募集した多くの親子が生ごみを一人1kg以上持参して参加。

暑さにめげず全員でジャガイモ700kg を収穫、その場で炭火焼ジャガバタを味





### ミミズコンポストに生ごみを投入 生ごみと野菜の交換市を実施

収穫祭や交換市ではミミズコンポストが大活躍です。キッズ生ごみ農園に来ていただく時は、生ごみを1kg以上持ってきていただき、採れたての野菜と交換しています。家族会員は、いつでも野菜を交換できます。

ミミズコンポストに生ごみを入れると…ミミズのごはんになります。そして、ミミズの糞はとても良質な堆肥になります。野菜が立派に育ちますよ。子供のうちから学ぶ一助になればと親子で参加を大歓迎します。





### ダンボール堆肥化講座と生ごみを出さないお料理教室

安茂里地区住民自治協議会と若槻地区住民自治協議会のご協力により生ごみ削減の「ダンボール堆肥化講座」を開きました。参加人数はそれぞれ20名弱とこのところ少なくなりましたが、若槻地区住民自治協議会では「生

ごみを出さないお料理講座」も 同時開催したところ、昨年より 男性の参加があり賑わいました。お料理って楽しい!そして、 生ごみとして捨てるのはもったいない!の意識が芽生えたようです。来年もぜひ参加してみたいと好評でした。





### 信州環境フェアに参加 展示とクイズとシソジュース試飲

29年度も信州環境フェアでは、盛りだくさんの内容で行いました。展示は、生ごみ削減から再生利用までをステージ1 ~ 4までの順に、削減グッズ、堆肥作り、土づくり、花や野菜の鉢植えなど見てわかるよう工夫しました。

クイズは「子ども生ごみクイズ」を 2 種類と大人向けの「楽しい生ごみクイズ」、計 3 種類を出題。これらのクイズを解説しながらステージ発表では「楽しい生ごみ教室」を行い、参加者には生ごみ堆肥で育てたジャガイモ 5 kgをプレゼントしたところ100人ほどが並び大盛況でした。

### 秋の収穫祭は豊作、豚汁に舌鼓

大根とゴボウ掘り、黒豆と黒小豆採りを親子で楽しんでいただけました。おでん大根は、手ごろな大きさで抜きやすい。ゴボウは、太く長い地物の村山ゴボウで収穫は大変でしたが、「お父さん頑張れ!」の声で立派な姿が子供の手に。これらの野菜と人参、ジャガイモを入れて、豚汁の大鍋をみんなで囲みました。



# SAPIRA SCREAM

### アモーレフェスタに展示、出店

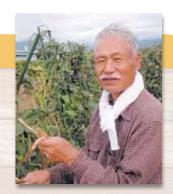
11月5日、恒例のアモーレフェスタに出展しました。今年は、体育館の展示に加え、外会場で生ごみ堆肥で育てた大根の直売をしました。来客は野菜高騰の折り、有機・無農薬で3本200円の安さにびっくり。2時間もしないうちに完売でした。

展示では、生ごみの削減・再生利用の流れを、1 ~ 4 ステージまでにグッズを並べて説明しました。特にキッズ生ごみ農園クラブの活動紹介や見本のコンテナ栽培も展示しました。

### プロジェクトリーダーから一言

29年度は、キッズ生ごみ農園クラブの活動を中心に、セブンイレブンジャパンによる環境市民活動助成金を交付していただいたことで、活動の幅が広がり活気が出たように感じています。

信州環境フェアやアモーレフェスタをはじめ、住民自治協議会主催による生ごみの削減・再生利用を呼びかける啓発活動にも、キッズ生ごみ農園クラブで生産した野菜(ジャガイモ・大根・黒小豆など)を生ごみ堆肥化の成果として、クイズや講座の参加賞や試食コーナーに活かしたり、



リーダー 河西 弘明

また、生ごみを出さないお料理講座で、これらを調理して味わっていただき、生ごみを減らして(堆肥化)

こんなに美味しい野菜をいただけるのだと実感していただけたと思います。

次年度に向けた構想は広がりますが、何をするにも活動資金は必要です。 今後もずっと助成金を当てにすることは出来ません。そのため本チームでは、 軽トラ市や朝市の出店により、自己資金の確立を目指して努力しているところ です。

# レジ袋使用削減 プロジェクト



### 私たちチームは こんなことを しました

# プラスチックごみを減らすために アイバッグ持参率80%を目指して

### ★マイバッグ持参を当たり前に

- ●長野市内54校の小学4年生3.300人にパンフレット「おしえて!レジ袋のこと」を配布
- ●「マイバッグふぇすた」を開催●市民団体の協力を得て持参率調査を実施

### 主な私たちの活動を紹介します



### 長野市内の小学生へパンフレット配布

### ●清掃センター見学時に配布

長野市内の小学 4 年生は、ごみ学習として清掃センターを見学します。 その見学時に、パンフレットを配布して学習してもらうことにしました。

### ●35校はチームで学校を回り配布

配布を始めた10月には35校の小学校がすでに見学が終了していたので、 チームで学校を回り、直接お願いしてきました。市内の様々な小学校に行 くことができ楽しかったです。

### ●「おしえて!レジ袋のこと」をお読み下さる先生方へのメッセージ

私たち「ながの環境パートナーシップ会議」のレジ袋使用削減チームは、平成15年から「レジ袋」の削減を目指して活動しています。お陰さまで、平成30年3月現在、マイバッグ持参率はほぼ60%までになりました。そこで、長野市のマイバッグ持参の意識を次世代へ継続的に伝えていこうと、小学生用の環境学習補助教材パンフレット「おしえて!レジ袋のこと」を作成しました。



パンフレットは暮しの中で誰もが使っている「レジ袋のこと」を「知り」、

レジ袋を削減することが何故必要なのかを「理解」し、3Rから2Rへの循環型社会をレジ袋の削減からはじめよう、私たちの地球のために「もったいない」のこころを伝えるという内容となっています。

是非、学校の学習の中で「もったいない」の意識を育てる学習の一助として、また、清掃センターの施設見学の際にご活用・ご利用いただければ幸いです。







### 信州環境フェアに出展

29年度の信州環境フェアは、昨年好評だったスーパーで1日に使用されるレジ袋の重さ(約)11kgの体験コーナーをメインに実施。やはり今年も参加者の関心が高く、いつも賑わっていました。また、レジ袋に関する展示を行い、来場者のレジ袋削減についての理解を深めました。

### 「マイバッグふぇすた」の開催

マイバッグふえすたは29年度で6回目、ながの環境団体大集合との共同開催ということで12月16日(土)、生涯学習センターで市民団体の協力を得て実施。作品は応募総数51点で、内訳は、県立短期大学の学生が6点、こども広場じゃん・けん・ぱんから子どもたちの楽しいお絵描きによるマイバッグ19点、また、一般からは26点でした。その他、体験コーナー、レジ袋の環境情報、マイバッグ写真の展示などによりレジ袋削減の普及啓発を行いました。



### ノー・レジ袋デーでの啓発活動

毎月5日をノー・レジ袋デーとして、市内の スーパーで市民団体の協力を得ながら、啓発活動 を行っています。

ポケットティッシュなどを配布して、マイバッグ持参を呼び掛けています。

### プロジェクトリーダーから一言

### 子どもたちに持続可能な社会を残すため

マイクロプラスチックによる海洋汚染が深刻な問題となりつつある今、使い捨ての代名詞となっているレジ袋の削減が改めて問われています。マイバッグ持参の意識はかなり浸透したと言っても、コンビニ、ホームセンター、また、観光地での買い物ではマイバッグ持参率は低いのが現状です。まだまだ、お買い物をする時、袋はお店が提供するということが当たり前と思っている人が多いようです。その意識を変えるのは、現



リーダー 渡辺ヒデ子

代人にはかなり難しいのかもしれません。私たちはこの50年の間に培ってきた、使い捨て文化の価値 観を変えなければいけないのではないでしょうか。そのきっかけがレジ袋です。次世代の子どもたち へ持続可能な社会を残すために、もう少しレジ袋にこだわっていきたいと考えています。

## 市民の森づくり プロジェクト

## たんなことは しました ような森づくりに取り組みました

私たちのチームは、29年度も例年と同様、以下の事業を実施しました。

6月より5回積み上げの「趣味の林業講座」、7月「中学生の森林体験受入」、10月「高校生の森林体験受入」、「秋の里山散策」、2月「かんじき体験」、4月「きのこの駒打ち体験」の開催、信州環境フェア、山の日ウォーキングイベント、森づくりワークショップ、環境こどもサミット、善光寺の森整備作業への参加、毎月2回の定例森林整備作業及びミーティングなどを積極的に行いました。

### 主な私たちの活動を紹介します



### 趣味の林業講座

6月~8月に、5回積み上げの趣味の林業講座が、長野市森林整備課(現森林農地整備課)、長野県林務部、市民の森ながのの共催で開催されました。基礎からしっかりと学びたいという方、自分の山の手入れをしたい方など今年も多くの受講生が集まり、大変に活気あふれる林業講座となりました。

### 山の日ウォーキングや 里山散策での自然観察

山の日ウォーキングや秋の里山散策などに合わせ、市民の森にて自然観察を実施しました。 散策し易く、気持ちの良い森となったボブスレー・リュージュパークの市民の森を見ていただくことに合わせ、森林の役割や大切さについても学んでいただきました。



### 高校生の林業体験を受け入れ

29年度も、北部高校生の森林体験講座をボブスレー・ リュージュパークの市民の森にて実施しました。手鋸を使っ て、高校生皆さんで協力しながら間伐体験をしていただきま した。中には、将来林業関係の仕事に就きたいという生徒も いて、なかなか頼もしいと思いました。



### かんじき体験

かんじき体験は市民の森づくりチームの活動の中でも真冬 に開催される愉しいイベントの一つです。

午前中にボブスレー・リュージュパークの管理棟の一室をお借りして参加者それぞれがMYかんじきを製作しました。 悪戦苦闘しながらかんじき作りをする方も見えましたが、午後はそのMYかんじきを履いて市民の森にて雪の森の散策を愉しみました。

### きのこの駒打ち体験

4月には、きのこの駒打ち体験会を行いました。秋の収穫を夢見て皆さんそれぞれ頑張って作業に取り組みました。駒打ちの後は林内に敷設。乾燥を防ぐために少し埋めたり、落ち葉を掛けたり、敷設する場所を考えるのもなかなか難しいものですが、作業を始めると皆さん真剣でした。



### 環境こどもサミットなどのイベントに出展

環境こどもサミットなどの環境イベントにも出展しました。内容は木エクラフト、山の材料でブローチやアクセサリーを作ったり、ミニかんじきを作ったり、木の名札も作りました。子供たちの発想力には驚きますし、大人顔負けの出来栄えでした。

メンバーは普段から森林整備の合間を見て材料の調達もしています。

### プロジェクトリーダーから一言

山の作業を通して仲間と出会い、語らい、喜びを分かち合うことが できました。日常生活では味わえない何かが、そこにはあるのです。

長野市内に、市民が誰でも入ることのできる森があちこちにできて、 自然の中で遊んだり、学ぶことが身近にできる、そんな森が長野市民 の財産となって行く、そんな里山の在り方が、我々の夢でもあります。 ボブスレー・リュージュパークの奥の森は、私たちが手入れを始め る前は、立入ることもままならない藪々の森でしたが、今では気持ち



リーダー **片桐 勝治** 

良く散策の愉しめる森となりました。どうか皆さんも一度この「市民の森」に来てみてください。 きっと何かを感じていただけるのではないでしょうか。

まだ道半ばです。仲間となっていただける皆さんを募集しております。

URL http://siminnomori.nagano-ep.net/

# 太陽エネルギー普及促進プロジェクト 活動レポート

# 私たちチームは CO2削減のため太陽エネルギー 利用促進の啓蒙活動をしています!

太陽エネルギーを利用する上で太陽光発電が一番主流であり、一般家庭の屋根にはソーラーパ ネルが当たり前のように設置されました。また、野立ての設置できる場所も少なくなりました。

これからは、耕作放棄地を活用した「ソーラーシェアリング」を増やしたいと考えました。なお、 真空ガラス太陽光温水器も優れていますので啓発していきます。

### 主な私たちの活動を紹介します

### ソーラーシェアリング視察(千葉県いすみ市) を実施 太陽光×キクラゲ

キクラゲはあまり直射日光を必要としないので ソーラーパネルの日陰は絶好の環境とのことで視 察しました。キクラゲは1~2週間で成長し、3か 月間位収穫ができます(1 菌床で≒1 Kg収穫でき ます)。 気温は20℃以上40℃以下でよいとのことで す。視察先では2,000菌床を栽培しており、2毛作 で春先と秋口に栽培できます。

なぜ、キクラゲをターゲットにしたのか理由を聞 くと、①管理が楽(水さえ与えればOK)です。②輸 入が98%で国産が2%のため売りやすく単価が高 いです (1200円/Kg)。 ③イトーヨーカドーでは、1 パック66g129円で売っています (≒2000円/Kg)。 ④生売りも乾燥売りもできるのでロスがない。⑤キ ノコの販売ではグラム表示が不要で賞味期限もな くファジーな商品です。⑥エノキやシメジ栽培は建 物が必要になり設備投資がかさみます。⑦シイタケ は過当競争で今からの参入は難しい。



以上の理由です。長野市内でも耕作放棄地が大 変多いのでソーラーパネルと一緒にコラボできな いか検討していきます。

### 市内若槻地区田中地籍でソーラーシェアリング計画 (1.2MGの規模計画) 進行中

一般社団法人 田中里山づくり里おこし事業会 (代表: 上條補喜氏) が若槻地区田中地籍にメガ ソーラーシェアリングの設置計画を進めています。 この話を是非実現するため、私たちチームと当事業 会がコラボすることで決まりました。また、同会の メンバーの方が私たちチームに参加していただき チームも元気がでました。

### プロジェクトリーダーから一言

国は再生エネルギーを促進しようとしていますが最近では明らかに後ろ向きで す。太陽光発電申請しても認可が半年以上かかり事業にならないので業者も半 減しているとともに設置者も激減しています。太陽光発電は売電でなく蓄電して 自家消費に回す方向ですが、まだ価格が高く普及には時間がかかりそうです。

買い取り価格も来年はさらに安くなりそうですが、耕作放棄地等を活用してい くソーラーシェアリングの普及啓発を目指していきます。また、太陽熱利用も推 進していきたいと思います。特に真空ガラス太陽温水器は一年中使えて耐久性も 高いので、こちらも普及啓発を考えていきたい。



リーダー 田中

# ながのカーボンオフセットプロジェクト活動レポート

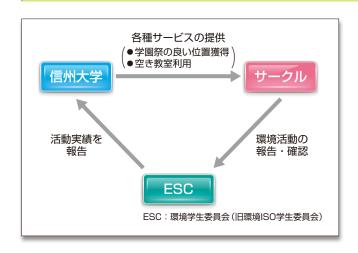


# 排出量取引制度を 大学生と考えました



信州大学の学生が、授業として地域環境NPOに参加する講義「地域環境演習」で、当チームは、 学生2名を受入れて、大学内に導入可能な、排出量取引制度のアイデアを考えました。

### 信大生の考えた排出量取引のアイデアは以下の通りです



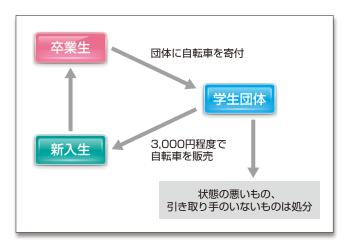
### サークルが実行した環境活動の成果を 反映する案です

実はサークルで活動する学生たちは、学園祭で良い位置で宣伝したり、空き教室を利用したりしたいそうです。その選択の順番を決めるのに、普段の環境保全活動の成果をポイントとして可視化したら、というのがこのアイデアです。

### 毎年発生する卒業生の廃自転車を 学内で処理する案です

卒業とともに卒業生が学内に放置する自転車が一定量あるそうです。これをリユースするために、学生が自主的に取り組もうとしたのがこの案です。





排出量取引の概要を簡単にご説明しただけですが、上記以外にもいろいろなアイデアを考えていただきました。環境を社会・経済学的な視点でとらえる、本プロジェクトの目的通りの活動でありました。

### プロジェクトリーダーから一言

今回ご参加いただいた信大生の皆様には、今までに考えもつかなかった、アイデアを頂き、大変感謝しています。ありがとうございました。 リーダー **小山** 

勝宏

# 子どもの環境学習支援 プロジェクト

私たちチームは こんなことを しました

# ユース(中高大学生)の環境学習 と交流に取組んでいます

地球環境の危機の時代、地域に環境活動を根付かせることがますます重要になっています。長野市には多くの環境NPOが活動し、こどもエコクラブもあるのですが、中学生、高校生になると環境活動の機会がなくなることが大きな課題です。国連環境計画会議など海外の環境交流活動に子どもたちを参加させてきた体験から、国際的な交流は子どもたちの意識や考え方を大きく成長させることがわかりました。そこで、中高大学生(ユース)を対象とした国際ユース環境会議を毎年開催してきました。国内外のユースが交流することで、子どもから大人まで、各世代の環境活動がつながり、長野市が「国際環境都市」として大きく発展していけたらと考えています。

### 主な私たちの活動を紹介します

### 長野から始める!

周りを山に囲まれて、 海外を意識しにくい

地元を良くしたい(地域活性)

オリンピック経験 がある

環境が豊か

長野を国際環境都市に!

### 国際ユース環境会議の経過

2010.11.13 : 環境X国際交流をこどもサミットで呼掛け

2012.06.15-17:第1回を鬼無里で2013.08.09-11:第2回を大岡で2014.09.5-7:第3回を戸隠で2015.06.27-28:第4回を鬼無里で2016.06.15-17:第5回を小田切で2017.06.30-02:第6回を小田切で

### 今年のテーマは「フードロス」 レポート発表

事前に各自が作ってきた"フードロス"のレポートを一人ずつ英語で発表しました。同じテーマでも人によって様々な視点から発表することで、新たな発見ができるとともに、とても良い経験となりました。英語で話すという普段慣れないことにも恐れることなく、みんな堂々と発表していました。





### 大学生主催のワークショップ

中高生に大学生が4つのワークショップを考えてくれました。4名の少人数で各ブースを回りながらみんなで知恵をしぼってポイントを競いました。地球温暖化などの現状と対策を学び、昼には各班の成果発表がありました。



### 英語でディスカッション

3 グループでイギリス、中国、ブラジル人と各自のレポートを紹介し、各国のフードロスについて英語で討論しました。各国の環境事情を知る、とても良い経験となりました。また、英語での問答ができ、難しかったと思いますが楽しい時間を過ごすことができました。

### おやき作りで楽しく交流

長野のソウルフードであるおやきの作り方を教わりながら、実際に作ってみました。国際交流員の方々も始めての体験で、みんなで楽しく作り、味わいました。



### 未来への手紙



この3日間で感じたことや体験したことを思い出しながら、自分と世界の未来へ向けての手紙を書きました。普段の生活の中では未来を考える機会はあまりないように感じます。様々な世代の人と一緒に生活する中で何を学んだのか、それをどのように活かせるのかなど、考えをまとめるのは大変でしたが、有意義な時間となりました。来年に自分の書いた手紙が届くのが楽しみです。

### プロジェクトリーダーから一言

長野市は豊かで素晴らしい自然環境に恵まれているおかげでしょうか。積極的に海外へ出よう、交流しようという気分が少ないようです。 長野市には多くの環境活動がありますが、「地域に根付いた活動」のためには子どもから中高大学生、大人まで継続した活動が行われる場が必要です。長野市が真に環境都市になるためにも海外に目を向けてみませんか。そのことで初めて地元の良さと足りない部分とがわかり、長野市らしい環境活動が生まれてくるのではないでしょうか。



リーダー **渡辺 隆一** 

## 小生物の育成環境保全 プロジェクト

こんなことを しました

# \*\*\*\*\*\*\*\* 国蝶オオムラサキの環境保全と バニエドヒガン桜の育苗に取組みました



私たちチームは、平成29年度活動として国蝶オオムラサキの飛翔乱舞するこ とを夢見て生息環境の保全・整備に取り組みました。

また、ソメイヨシノ桜の後継種として「マツシロベニエドヒガン桜」の育苗 に取り組み、1千本の植樹を目標に普及活動を行いました。

### 主な私たちの活動を紹介します



### 1 外来樹:ニワウルシの駆除と空間確保作業

オオムラサキの飛翔を妨げている外来樹「ニワウ ルシーを、市民の森づくりチームの支援を受けて除 伐作業を実施し、オオムラサキの生息環境を整備し ました。

### ②ベニエドヒガン桜 (親木) から穂木を採取

親木の枝から、接ぎ穂を採取する作業を実施しま した。この接ぎ穂(10cm~15cm)の枝を1ヶ月間 冷蔵庫で眠らせ、4月中旬、幼木に接ぎ木するも のです。



### ③一般市民向けオオムラサキの観察会開催

一般市民対象の観察会を開催し、70名の参加者 がありました。オオムラサキの幼虫や羽化の様子を 観察し、感嘆の声があちこちから聞こえました。



### ④小学生向けオオムラサキの観察会開催

松代地域の小学校(豊栄・東条)の観察会を実施しました。オオムラサキの実物に出会い、「ウマノスズクサ」に群がるジャコウアゲハの幼虫等に歓声をあげていました。子供たちの目の輝きが印象に残ります。

### ⑤オオムラサキ生息地の整備作業

観察会開催前の除草作業。ノイバラ、ヤブジラミ、 ニワウルシ幼木などを除去しました。作業を行う人 の中心は高齢者となり、将来に向け若返りを図るこ とが課題です。



### ⑥エドヒガン桜苗の植替え作業

約1.5mに育った幼木の植替え作業を実施しました。また、松代地区の公共施設内敷地へ移植するための幼木を約600本堀り起こしました。いよいよ"1,000本桜大作戦"が軌道に乗ってきました。

### プロジェクトリーダーから一言

### "オオムラサキ蝶の里・竹ノ入について思う"

私達「小生物の育成環境保全PT」が「スハマ会」より、オオムラサキの保護活動を引き継いだのは5年前のことです。その後、オオムラサキの発生が減少ぎみで、昨年は最低でした。今年は多少回復しましたが、満足するにはほど遠い状態です。私達はどのように自然に接し、オオムラサキを増やすにはどのようにすべきか?オオムラサキが「竹ノ入」の空に乱舞する姿を夢見ながら、会員の皆さんや一般市



リーダー **杉山 茂樹** 

民の方々の知恵や情報を頼りに前に進み、生育環境の整った「竹ノ入の森」を次世代に引き渡したいと思っています。

# ぽんすけ育成 プロジェクト

# はたける。 信里の生態系保全・環境維持

ながの環境パートナーシップ会議に参画して2年目となります。信里地区の「ぽんすけ育成会」です。よろしくお願いいたします。今年で会発足3年目になりますが、絶滅の危機に瀕するぽんすけ(シナイモツゴ)を守り、育て、次世代に引き継ぐための「ぽんすけ育成プロジェクト」に取り組んでおります。



### 主な私たちの活動を紹介します



### シナイモツゴって何?

コイ科の淡水魚で全長約8cm。都市化の開発や外来魚などによる捕食等により、減少傾向にあり、国及び長野県が絶滅危惧種に指定しています。長野県では、長野市、上田市、栄村に生息しており、その中でも長野市信里地区には全国的にも珍しいため池群にシナイモツゴが生息しています。信里地区ではシナイモツゴのことを「ぽんすけ」と呼び親しまれています。

### ぽんすけ観察会

春と秋に、信里小学校の池にて、ぽんすけ観察会を開催しました。会員以外も参加できる公開観察会と信里小学校の児童・地域住民を対象としたものです。春の観察会にはポンちゃんラーメンでお馴染みの信陽食品株式会社様にも協賛していただきました。



### Tシャツなどグッズ販売

ぽんすけ育成会のオリジナルTシャツ、バッジ、ステッカー、シールを作成し、ぽんすけ観察会や茶 臼山動物園まつりでのブース出展時に販売しました。大変好評です。一人でも多くの方にぽんすけ育成会を知ってもらいたいです。



### ぽんすけ田んぼでのお米作り

ぽんすけの生息するため池の水は信里地区の稲作にとってはとても大切な物です。逆にいうと、稲作をして、ため池が管理されているからぽんすけは生きていけるのです。田んぽの生態系を維持するために育成会では、ぽんすけ田んぽでの稲作に取り組み、できたお米を「ぽんすけ米」として販売しています。

### ため池の掻い掘り

ため池を整備しないと最後には湿地化してしまいます。育成会ではNPO法人生態工房とタイアップして信里地区のため池を掻い掘りすることにしました。冬期のため池を使用していない時期に池の水を抜いてたまった泥やヘドロをくみ出します。



# 058

### ぽんすけ生息調査

信里地区には400を超えるため池が存在しています。育成会ではため池のぽんすけ生息調査を開始しました。

信里地区のため池は、全て地主の方に許可を取らなければ立ち入ることができません。もちろん育成会では地主の方にご協力をいただいています。

### プロジェクトリーダーから一言

ぽんすけ育成会を立ち上げて3年になりました。シナイモツゴ(ぽんすけ)を含むため池の水生生物は、昔ながらの稲作を続けることで守れることを知り、生息地周辺の田んぼを維持するために、当会でお米を作っています。

「美しい里山の自然と人を守る」を活動の主軸とし、時には地元小学校のため池の「かいぼり」を小学生や地元の方と協力して行い、地元への啓発や次世代の育成にも力を入れています。



リーダー 小林 和子

### ゴマシジミ保護・育成 プロジェクト (浅川地区住民自治協議会)

こんなことを しました

# 育成活動に取り組みました

私たちチームは、長野市浅川地区の長野市霊園に生息する環境省のレッドデータ リスト絶滅危倶種1A類に指定の蝶、ゴマシジミの保護育成活動に取り組みました。 また、この取り組みを次世代へつなぐ方策として、ゴマシジミを題材にした紙芝 居を制作し、啓発活動を実施したほか、紙芝居を市内全小学校へ寄贈しました。



### 主な私たちの活動を紹介します



### ゴマシジミって何?

成虫は開張40mm前後。環境省の「絶滅危惧1A類」に 指定され、本州中部亜種としては長野県内で長野市浅川 地区と松本市奈川地区にごくわずか生息しています。

幼虫は、ワレモコウを食草とし、その後、シワクシ ケアリの巣に運び込まれ、巣の中では、アリの幼虫を 食べて成長するという特異な生態をもちます。

### 保護活動の先進地・松本市奈川地区を視察

平成17年に松本市と合併した奈川村(現奈川地区)での保 護活動を視察してきました。奈川地区では、当初ゴマシジミに 関心がなくその結果、100頭ほどが密猟されました。その後、蝶 に造詣の深い市職員が奈川支所へ配属されたのをきっかけに 保護活動が本格化し、現在では、地区全体でワレモコウの育成 や監視活動などが実施され、地区内13か所でゴマシジミの生 息が確認されています。私たちも地区を上げて保護活動に取 り組んでいくことを改めて決意したところです。



### 「がんばれ!!ゴマシジミ」の紙芝居を制作、寄贈

ゴマシジミに関心をもってもらおうと、ゴマシジミの一 生を描いた紙芝居「がんばれ!!ゴマシジミ」を制作しまし た。この紙芝居は、地区住民が脚本を考え、北部中学校美 術部の生徒に絵を描いてもらった手作りのオリジナル作 品です。上演するのは、地元住民の紙芝居ボランティア 「にこにこ一座」が担当し、各地で上演会を実施しました。

また、多くの子どもたちにゴマシジミや地域の自然につ いて知ってもらおうと、長野市内の小学校全校に紙芝居 を寄贈しました。



### 密猟を防止!! 生息地内をパトロール

私たちチームは、ゴマシジミの密猟を防ぐため、 生息地である長野市霊園内の巡回パトロールを実施 しました。密猟者は霊園職員がいない時間帯を狙お うとするため、早朝から同職員が出勤する午前8時 30分まで広さ26ヘクタールある霊園内の生息区域 5か所を中心にパトロールしました。

また、ゴマシジミは、 長野県の保護条例で無

届での捕獲が禁止されているため、防止看板も設置しました。皆さん、保護 活動にご理解ご協力をお願いします。

ですっている。 では、これにはいたなかは、5年以下の遊役 しているののの呼叫がの調金になります。 を利に組ましないようお願いします。 を知る場合を表現しないような問います。 しては、4年の場合のは、10年のではなり、 しては、4年の場合のは、10年のではなり、日本のではなり、日本ののでは、10年のでは、10年のではなり、日本の本のでは、10年のではなり、日本の本のでは、10年

2M内の昆虫・草花の採取禁止

ルモコウがも且・自生しています

密猟者は5年以下の懲役又は500万円以下の罰金に!▶

### 地元小学校がワレモコウの苗を育苗、生息地で自然観察会

ゴマシジミの食草「ワレモコウ」を増やしたいと地元の浅川小学校に苗を託し、育苗を依頼しました。 また、毎年、4年生を対象にした自然観察会を開催しています。

これらのことを実施することで、子どもたちにゴマシジミの生態を知ってもらうとともに自然環境により関心を寄せてほしいと願うばかりです。





### プロジェクト事務局から一言

浅川地区における「まちづくり計画」の一環である里山の整備のなかで野生希少種の蝶「ゴマシジミ」の生息が確認されました。自然環境に敏感に適応しながら秘かに生息してきたその生態系を学び、大切さを活かすため、子供から大人まで地域住民の参画による保護育成活動を始めました。現在、定着しつつあるこの活動を今後いかに継続するかが課題です。



事務局 原田 孝成

# 信州大学工学部 平成29年度 「地域環境演習 に おける活動報告



信州大学工学部物質化学科 教授 錦織 広昌

本学部学生向けの選択科目である「地域環境演習」では、平成19年度の開講以来、環境マインドをも つ人材の育成を目的とした実地教育を行っています。受講生は環境問題解決への取組を通して、「自ら PDCAサイクルを機能させて行動できるようになる | ことを目標として、ながの環境パートナーシップ会 議のプロジェクトに参加させていただいています。前期に、「地域環境演習I」として1単位を修得する と、その後「地域環境演習Ⅱ」として、もう1単位を修得することができます。

平成29年度前期には、「地域環境演習 I | として、レジ袋使用削減 (5名)、子どもの環境学習支援 (5 名)、ながのカーボンオフセット(2名)の3つのプロジェクトチームに12名の学生が参加しました。 以下にその活動内容について紹介します。

### レジ袋削減の啓発活動

### 受入チーム レジ袋使用削減プロジェクトチーム

レジ袋使用削減チームは、マイバッグ持参率調査、 マイバッグ持参の呼びかけ、レジ袋削減策の検討な どの活動を行いました。このためのポスターやチラ シなどの原案も作成しました。マイバッグ持参率は 年齢層別に調べています。

実質の活動期間は5か月ほどであり、実際にマ イバッグ持参率が向上したかどうかよりも、その活 動の中身が問われます。呼びかけについては、誰が いつどこでどのように行うのが効果的かなどを話し 合いました。その結果、マイバッグ持参率を上げる ためには、クオリティーの高いポスターや動画を用 いて幅広く行うことが必要であり、多くの人々の意 識を変えるのは非常に難しいことを実感しました。 最終的には、レジ袋使用削減の方法としてレジ袋を 有料化することが最も有効だという結論に至ってい ます。有料化も一つの方法ではありますが、これも 容易なことではなく議論になるところです。



▲マイバッグ持参促進ポスターの素案

動画というアイデアは最近の学生らしい発想であり、実際に動画配信は情報や思想の発信の最も有効な 手段の一つとなっているため面白いと思います。しかし、具体案や例などまで提示してもらえるとよかっ たように思います。

### 国際ユース環境会議に参加

受入チーム 子どもの環境学習支援プロジェクトチーム

子どもの環境学習支援チームは、6月30日~ 7月2日の日程において長野市青少年錬成セン ターで行われた国際ユース環境会議に参加し、運 営に携わりました。その準備段階から会議の実行 委員会の活動に協力しました。

今回の会議のテーマであった「フードロス」に ついてのディスカッション、講演会、ゲーム形式 での意見交換などを行いました。また、ワーク ショップとして理科や工学技術の実験などを体験 させる機会も設けました。英語での海外とのスカ

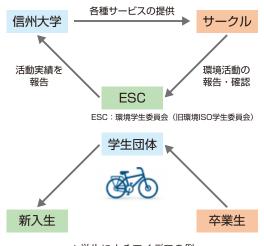


▲会議でのワークショップの様子

イプ会議で環境問題を討論するなど、普段の生活では慣れないことにも積極的に参画しました。

大学生が中心となって中高生を指導し、環境問題についてじっくり考えるよい機会を与え、環境教育と して非常に有意義な会議とすることができました。ワークショップなどは彼らの工学部生としてのアイデ アを出せたようです。準備から実施まで 1ヶ月ほどという短い期間の中で、授業時間外に全てを成し遂げ たことは彼ら自身の大きな成果です。実際の教育効果や今後の課題などが次回に活かせるように引継ぎが できるとよいと思います。

### 学内でのカーボンオフセットの体制の提案 受スチーム ながのカーボンオフセットプロジェクトチーム



▲学生によるアイデアの例

ながのカーボンオフセットチームは、ある社会において 機能するカーボンオフセット体制について考えました。

その結果、学内のサークルが環境活動を行うことによっ てポイントを獲得し、それに応じて学内の活動スペースが 利用できるようになるなどの特典が受けられる仕組みや、 卒業生が不要になった自転車等を新入生に譲り渡してリ ユースできるような仕組みを提案しました。

大学という限られた社会の中でも実現は難しいかもしれ ません。しかし、このようなアイデアを出し合い検討する ことで、環境マインドを高められたと思われます。今後の 社会活動に活かしてもらいたいです。なお、厳しく言えば、 工学部の学生として望まれるのは、具体的に二酸化炭素の

排出量削減やカーボンオフセットにつながるかどうかまで考えることではないかと思います。これについ ては是非、学内の専門家に相談してほしいところです。

以上のように、29年度もながの環境パートナーシップ会議の皆様には、本学学生が大変お世話になり 感謝しております。学生たちには若い力とアイデアを期待されていますが、それに応えるには更なる教育・ 指導が必要であると感じています。昨年の報告書でも書きましたが、受講生はもっと担当教員に相談して ほしいと思います。我々だけでは手に負えないことでも、工学部の他の教員にまでネットワークを広げる ことも可能です。「地域環境演習」は工学部の環境教育において特色を誇る科目の一つです。今後は、工 学部の環境委員会などで学部全体としての環境教育の在り方を再検討し、一定の方針の下で環境教育を支 えていく体制を作ることが望ましいと考えます。

### 事業者の皆さんと連携強化



プロジェクトサポーター事業者との

コラボ 事業を紹介

4 つのプロジェクトチームとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。 引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

### 

### 長野市委託浄掃事業協同組合

### 生ごみ削減・再生利用PT

生ごみの堆肥で育てた野菜を収穫するイベント「夏の収穫祭」、「秋の収穫祭」に組合員の皆様が参加して盛り上げていただきました。



### 

### 直富商事株式会社

### 子どもの環境学習支援PT

第6回国際ユース環境会議で「フードロス」をテーマしたワークショップの講師として社員の方が講演しました。



### コマキ工業株式会社

### 小生物の育成環境保全PT

同社の協力によりバックホーを用いてマツシロベニエドヒガン桜の苗約80本の植替え作業を実施しました。



### 信陽食品株式会社

### ぽんすけ育成PT

自然観察会に活用してほしいと同社の商品「ポンちゃんラーメン」30食分を寄贈していただきました。



### ●プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

### 記事等で見る

ながの環境パートナーシップ会議の活動





オムラサキの

優雅に舞うオ

後、林の中を

闘を受けた

姿を観察し

信州昆虫学会会員 から説明を受ける 児童(昨年6月)

る毎年6月下旬~7月 初旬、一部学年の児童 羽化して舞う時季にな 条竹ノ入地籍の雑木林 では、オオムラサキがと、地元の自然観察グ 干が生息する。東条小 には国蝶・オオムラサ 学校近くの松代町東

ではる~日年生が、チ ループと協力して実 施。昨年6月の観察会 機会を児童に与えよう 豊かな自然に親しむ 昆虫学会会員 流れについて なく、羽化の 案内役の信州 動をしている ョウの保護活

H29,6.20 長野市民新聞

は3、5年生を対象に の観察会を開催。今年 が現地に出向くチョウ

シナイモツゴの観察会を開いた。会員や地

元住民ら約30人が、他の仕掛けに入った側

会」は18日、信里小学校敷地内のため地で 保護に取り組む有志の団体「ぼんずけ育成 親しまれている淡水魚「シナイモツゴ」の

体を容器に移して手で触れるなどして観察

学校近くの雑木林に生息

来月4日に観察会

7月4日に計画してい

観察会は、地域の

あったが観察するのは 参加した村松戦男さん - 歯神台=は「興味は 説明を受けた。初めて かないと生息域が減少 モツゴの体の特徴や、 する課題などについて ため他の管理が行き届 ある専門家からシナイ 参加者は、会員でも を楽しんだ。 目的とした網獲ができ 申請せずに保護活動を た。認定によって県へ 業」の認定書を交付し 観察会に先立ち、異が されており、会場では 良かった」と話した。 同会に「保護回復事 希少野生動植物に指定 姿を見ることができて シナイモツゴは県の

会やため池の環境整備 るようになる。 (79) は「今後も観察 同会の小林和子会長

> い」と話している。 け』を守っていきた

> > 成会の活動支援として

1「信爾食品」=北条

表贈された。

やんラーメン 30食が 同社の即席贈「ポンち

同日は、食品メーカ

保護団体が信里小で会 特徴や生息域学ぶ

などを通して「ほんす 町=から、ほんすけ育 シナイモツゴを手に取って観察する子供

H29.6.22 長野市民新聞 



おやきを作 て交流する学生たち 子供らおやき作り体験も

青少年錬成 センターで

日300万人分の食事 日本語と英語で作成し を捨てている計算にな 発棄量に着目して「何 ちは、コンビニ弁当の して交流した。 食のおやきを作ったり ス」をテーマにレポー される食品「フードロ 発表した。参加者た レポートは、事前に を発表したり、郷土

や黄味卵限切れで廃棄 人が参加し、食べ残し は英語が上手だった。 と話していた。 ば来年も参加したい もっと勉強してできれ え(12)は「天堂 問会議は、主に長野

や、ジビエ(野生鳥歌 事業者による講演会 市内の食品リサイクル レポート発表の他に、 24)年から毎年開催。 行委員会が12(平成 市内の有志でつくる実

日までの3日間、中青 田中=で開かれた。22 少年錬成センター=山 ユース環境会議」が2 を深める「第6回国際 環境問題に対する理解 国際的な視野を広げ、 中学生~大学院生が (中学生) などと訴え いない』を含言葉にフ 付属中1年の黒郷和夏 ードロスを減らそう」 介しながら一つもった 国内の年間廃棄量を紹 る」(大学生)と分析。 初めて参加した億大

ども行った。 肉)のバーベキューな

H29.7.4 長野市民新聞



# 環境活動方次世代につるけるアフローチ ~接続可能な社会で目指して~ -2月16日 ① 13:00~16 野市生涯学習センター4階 Oigo WEST 大学習室1・2:33 世代へつなど オリジナルマイバッグ作成コーナー オンリーワンのパッグをデザイン! P会議環境スタンプラリー マイバッグふえすた ●マイバッグコンテスト応募作品展示 ●レジ袋削減・マイバッグの情報展 ●マイバッグ写真展 雜:長野市 会議事務局

H29.11.30 長野市民新聞

サイ図1828・47 軽食含む)。会員は風。 持ち物/生ごみ1は、 装で。当日は会員申し れ物。汚れてもいい服 小学生10円(保険代、 農場。参加費一般50円 橋下流のキッズ生ごみ 〜12・00、屋島・落合 長靴、袋など入

> H29.7.15 週刊長野



三」の保全を訴える紙 の担当チームは21日 芝居を製作していた同 地区住民自治協議会内 希少チョウ「ゴマシジ 川小学校に完成品を 所地区に生息する 食草「ワレモコウ」の を開催。チョウが好む を対象に校内で上演会 寄贈した。4年生8人 苗も贈り、学校敷地内 での栽培を依頼した。 無を居 がんばれず



一〇〇階

た。ワレモコウやチョ

がきれいで見やすかっ

内に植るる予定という。

同校では10月に敷地

での育成を依頼した。

の製作を

御美さん (10) は「絵 た。4年3組の大日方 物質に引き込まれてい

ミの紙芝 居を楽し ゴマシジ ウを大切にしたい」と

ミとそれを取り着く環 さんも訪れ、ゴマシジ 境などについて解説。 学会評議員の田下昌志 関心を高めていた。 日本鱗翅(りんし)

りは市内の小学校など と徳間小、若槻小にも ポスターカラーを贈 に贈る予定。北部中美 紙芝居を贈呈した。残 同チームは、漫介 ゴマシジミ保全紙芝居

# 

クラブ 夏の収穫祭 (ジャガバタを味わう

7月23日日1000

サキッズ生ごみ農園

浅川自治協

のゴマシジミ「ゴマち マシジミ」は、 ん」が天敵から逃れ 美公 子供たちにゴマシジミ て卵を産むまでの物間。 ながら成長し、変をし

ため、北 の存在を 周知する 小に贈った。 の紙芝居ボランティア し、このうち上部を同 成作品を披露。児童は 「にこにこ一座」が完 上演会では地元住民

その上で、チョウの生 担学ームリーダーの 苗を託し、来年4月ま やしたいとして同校に 原地にワレモコウを増 の活動内容を報告した。 相澤晴雄さんはチーム

H29.9.28 長野市民新聞



アイデアを伝え合う権 しです。ながの環境パ

to

年に1回開催していま

環境啓発イベントに若者参加

トナーシップ会議が

境活動を次世代へつな

の実行委員会」は、家

ーライトダウンなが

うゆったりとした家族 だんらんを過ごそうと

た

○○○○ 中城隼人

7回目の今回は「現

動に関するさまざまな

集合」が開かれまし 7回ながの環境団体大 企業、学校が、環境活 昨年12月16日、「第 NPOの リレーコ るで賞」「私たちもや 人が審査し、「夢があ した16~30歳の若者18 が発表しました。公蘇

うかをテーマに17団体 <70> は、活動を若 伝え、担い手 コンテスト 樂まりまし となってもら い世代へどう アイデア

SORA

世代へつなぐ環境ゲー

信州大学工学部の環境

学生委員会による「次

た。環境クイズに答え ムソフト」の紹介でし

て「ポス」の攻略を目

五つの質を授与しまし ってみたいで質しなど りた「ながの環 との若者が参加 ペシャル」 ペシャル」

いて学べまし りまでが、楽し う紙芝居を演 ジミの現状につ 成チーム」は、 みながらゴマシ い子からお年寄 じ、金襴の小さ マシジミ」とい 「がんばれ!!ゴ いました。 素晴らしい活動だと思 指すという内容で、幅 広い担代が挑戦できる

今回のイベントは、

持ってもううため、工 夫とアイデアを詰め込 関わり、参加者に会場 い世代も含めた多くの プラリーを企画、約60 をしっかりと見て回っ 運営に含人の大学生が 万に環境問題へ関心を 人が参加しました。若 てもらうためにスタン

H30.1.20 長野市民新聞

(第7回環境大集合

スペシャルプロジェク

木から種を取り、地元

推定樹齢250年の古

の畑で育てた。同じ古

小から採取した枝を接

ドヒガン」と命名した

ため「マッシロベニエ

ン」では、21団体がそ

「ポスターセッショ

となる

んだイベントとなりま

れ、市民約200人が ーセッションが行わ ンテスト」と「ポスタ 代へつなぐアイデアコ ~」がテーマ。「次世 可能な社会を目指して げるアプローチ~持続

の明かりで普段とは遺

「ゴマシジミ保護育

特に目を引いたのが

と活動を紹介。テレ 減らす「ライトダウ 庭などで電気の使用を

境活動を提案しまし 誰でも実践しやすい環 いうアイデアを軸に、

た模造紙の展示や体験 れぞれの活動を紹介し

コーナーなどを企画。

ポートセンター)

ビを消し、キャンドル

15

### 市が設けている実験林 金・復元に向けて長野 取綱高原の自然の保 飯綱の実験林 木製ステップ設置 の地がるみ吸息 市の組織「ながの環境 り組む市民と事業者、 で召日、環境対策に取

沢池周辺に広がる約 製ステップを設けた。 ンバー8人がぬかるみ 開城学習会を前に、メ 現地で開く子供対象の ですい場所に新たに木 した。市が6月23日に 実験林は上ケ屋の柳

歩道の改 良作業を けの環境学習会で、今 美た。 年は新たに実験林内の 例年行っている子供向 道のぬかるみやすい場 ェクトの協力で、遊歩 散策を企画。「ロプロジ 所を改良した。 環境学習会は23日午 市は、柳沢池付近で



遊歩道に木製ステップを 置く市民の森づくりプロ ジェクトメンバー

トが、遊 会議」の 市民の森 ーシップ ロジェク パートナ つくりプ 6・82%。参加者は、

くの遊歩道に連んでぬ ェーンソーで厚さ10代 柳沢池北側にあるドイ かるんだ場所3カ所に ほどに輪切りにし、近 ツトウヒ林の倒木を子

「小天狗(てんぐ)の 前の時3分、飯綱高原 散策し、柳沢池でモリ 森」に集合。実験林を

生は保護者が同伴する。 生以上が対象で、小学 アオガエルの卵を観察

4.150004) (0 温暖化対策課(☎22 15日までに市環境保全 参加無料。申し込みは

H30.5.31 長野市民新聞



### エドヒガン苗木 光寺に奉納

松代町の住民有志

桜大作戦」に取り組む す活動「信州松代千本 桜・エドヒガンを増や 松代町内で長寿の ドヒガンに比べて遭い 5がほどで、禁を出し ピンク色の花を付ける て4年目。一般的なエ

今後、町内で本格的に 率納した。同町と歴史 の苗木20本を観光寺に から育てたエドヒガン 日、同町内の古木の種 かな成長を願った。 植えていく苗木の健や 守への奉納を通して、 的な関わりが深い善光 苗木は高さり で咲き輪り、訪れた人 しい」と話していた。 が導んでくれたらうれ

地元の住民有志は22 は「松代の桜が麓光寺

の牧野真弓さん(30) 企画。作戦のリーダー 保金プロジェクト」の の「小生物の生育環境 で、地域おこし協力隊 つくる「ながの環境バ 民や事業者、市などで 干本桜大作戦は、市 トナーシップ 傘下

境内東側の植栽地に苗木を植える

盤上殿南側の傾斜地 東側の植栽地に6本、

メンバーら約10人がス

に14本を植樹。有志

コップを手に作業し

H30.3.27 長野市民新聞

るという。 納式を行った後、境内 ぎ木しているため、同 じ濃い色の花を咲かせ 普光寺事務局前で南

### 新聞記事等で見る ながの環境パートナーシップ会議の活動

### ●新聞等掲載一覧表(平成29年6月1日~平成30年5月31日分)

| 番号                               | 掲載年月日  | 掲載新聞名<br>・広報紙名              | 掲載記事見出し   | 掲載記事の関係団体名<br>(P会議プロジェクト及びP会議会員団体等)         |
|----------------------------------|--|-----------------------------|---|---|
| 1                                | H29.6.1                                      |                             | 里山守る 知識学ぼう 長野市など 18日から「林業」講座                                | 市民の森づくりPT                                   |
| 2                                | H29.6.3                                      | 長野市民新聞                      | ぽんすけ商標でリンゴや米 栽培手掛け販売  | ぱんすけ育成PT                                    |
|                                  |  |                             |   |   |
| 3                                | H29.6.7                                      | 信濃毎日新聞                      | シナイモツゴの池生かし生かされ   | ぽんすけ育成PT                                    |
| 4                                | H29.6.7                                      | 信濃毎日新聞                      | 絶滅懸念の淡水魚 シナイモツゴ 生息環境守れ                                      | ぽんすけ育成PT                                    |
| 5                                | H29.6.7                                      | 信濃毎日新聞                      | 「淡竹」料理で魅力発信   | 母さんの玉手箱本舗企業組合                               |
| 6                                | H29.6.13                                     | 信濃毎日新聞                      | 長野工高校生 独自製品紹介   | 長野工業高校                                      |
| 7                                | H29.6.19                                     | 信濃毎日新聞                      | 学んで守る シナイモツゴ  | ぽんすけ育成PT                                    |
| 8                                | H29.6.20                                     | 長野市民新聞                      | オオムラサキ 学校近くの雑木林に生息 来月4日に観察会                                 | 小生物の育成環境保全PT                                |
| 9                                | H29.6.22                                     | 長野市民新聞                      | ながの農協と県 こども食堂など支援   | こども食堂                                       |
| 10                               | H29.6.22                                     | 長野市民新聞                      | 住民「ぽんすけ」観察  | ここら及主<br>  ぽんすけ育成PT                         |
|                                  |  |                             |   |   |
| 11                               | H29.6.24                                     | 長野市民新聞                      | 食品ロス削減訴える   | NPO法人みどりの市民                                 |
| 12                               | H29.6.24                                     | 長野市民新聞                      | ライトダウンキャンペーン2017 in ながの 広告                                  | ライトダウンながの実行委員会                              |
| 13                               | H29.6.24                                     | 長野市民新聞                      | 食品ロス削減 長野で講演会   | NPO法人みどりの市民                                 |
| 14                               | H29.6.28                                     | 信濃毎日新聞                      | シナイモツゴすむ環境考える   | ぽんすけ育成PT                                    |
| 15                               | H29.7.1                                      | 長野市民新聞                      | 7日 長野駅前広場で ろうそく並べコンサート                                      | ライトダウンながの実行委員会                              |
| 16                               | H29.7.4                                      | 長野市民新聞                      | ライトダウンキャンペーン10周年記念<br>Love & Peace キャンドルナイトコンサート            | ライトダウンながの実行委員会                              |
| 17                               | H29.7.4                                      | 長野市民新聞                      | 食品廃棄で環境会議   | 国際ユース環境会議実行委員会<br>(子どもの環境学習支援PT)            |
| 18                               | H29.7.15                                     | 週刊長野                        | <br>  キッズ生ごみ農園クラブ 夏の収穫祭 (ジャガバタを味わう会)                        |   |
| 19                               | H29.7.13                                     | 信濃毎日新聞                      | イン人主との展園 アンア 麦の収穫 (ノヤガバメを味り)   「シナイモツゴ」 保全 生息のため池周辺で草取り     | <u> 土この削減・円土利用FT</u><br>  ぽんすけ育成PT          |
| 20                               | H29.7.25                                     |                             | 「クノイモノコ」 休主 生息のため心周辺で早成り   平成29年盛夏 暑中お見舞い申し上げます 広告          | はんりり自成FT  <br>  ながの環境パートナーシップ会議             |
|                                  |  | 長野市民新聞                      |   |   |
| 21                               | H29.7.26                                     | 信濃毎日新聞                      | 長野の団体 来月ジャガイモ掘る収穫祭  | 生ごみ削減・再生利用PT                                |
| 22                               | H29.7.27                                     | 信濃毎日新聞                      | 信州環境フェア2017 広告  | 信州環境フェア実行委員会                                |
| 23                               | H29.8.10                                     | 長野市民新聞                      | ヒートアイランド現象 親子連れ実施で体験  | NPO法人みどりの市民                                 |
| 24                               | H29.8.27                                     | 信濃毎日新聞                      | 信州環境フェア2017 広告  | 信州環境フェア実行委員会                                |
| 25                               | H29.8.29                                     | 長野市民新聞                      | 密漁防止へ早朝巡回 ゴマシジミ 浅川自治協が霊園で                                   | ゴマシジミ保護・育成PT                                |
| 26                               | H29.9.2                                      | 週刊長野                        | 家庭でできるエコ  | 高木直樹さん(信州大学工学部教授・NPO法人みどりの市民代表理事)           |
| 27                               | 1100 0 6                                     | <b>/=:</b> #                | サブスを終済に おひかり  |   |
|                                  | H29.9.6                                      | 信濃毎日新聞                      | 生ごみを資源に 松代から  | 長野市農業研修センター                                 |
| 28<br>29                         | H29.9.9<br>H29.9.15                          | 週刊長野<br>環境保全研究所<br>「みどりのこえ」 | ゴマシジミ 活発な地元の保護活動  | ゴマシジミ保護・育成PT<br> <br>  ぽんすけ育成PT             |
| 00                               | 1100 0 10                                    |                             | 中ウススナフェコ  |   |
| 30                               | H29.9.16                                     | 週刊長野                        | 家庭でできるエコ  | 渡辺ヒデ子さん(NPO法人みどりの市民事務局長                     |
| 31                               | H29.9.27                                     | 信濃毎日新聞                      | ゴマシジミ保護 紙芝居で伝える   | ゴマシジミ保護・育成PT                                |
| 32                               | H29.9.28                                     | 長野市民新聞                      | ゴマシジミ保全紙芝居 完成品小学校に寄贈  | ゴマシジミ保護・育成PT                                |
| 33                               | H29.11.15                                    | 信濃毎日新聞                      | 絶滅の恐れあるチョウ「ゴマシジミ」 保護願う紙芝居 寄贈                                | ゴマシジミ保護・育成PT                                |
| 34                               | H29.11.29                                    | 信濃毎日新聞                      | オオムラサキ 成虫どこへ? 長野・松代繁殖地                                      | 小生物の育成環境保全PT                                |
| 35                               | H29.11.30                                    | 長野市民新聞                      | ながの環境団体大集合2017 広告   | ながの環境団体大集合<br>スペシャルプロジェクトチーム                |
| 36                               | H30.12.9                                     | 長野市民新聞                      | 環境団体が交流会 16日に生涯学習センターで                                      | ながの環境団体大集合<br>スペシャルプロジェクトチーム                |
| 37                               | H29.12.9                                     | 週刊長野                        | 企業や学校など23団体 環境活動を発表<br>16日 学生も企画に参画                         | ながの環境団体大集合<br>スペシャルプロジェクトチーム                |
|                                  | 1100 10 : :                                  |                             |   | ながの環境団体大集合                                  |
| 38                               | H29.12.14                                    | 信濃毎日新聞                      | ながの環境団体大集合 お知らせ<br>   | スペシャルプロジェクトチーム ながの環境団体大集合                   |
| 39                               | H29.12.19                                    | 長野市民新聞                      | 環境団体が集い アイデアを披露   | スペシャルプロジェクトチーム                              |
| 40                               | H29.12.19                                    | 信濃毎日新聞                      | 環境保全の取り組み一堂に 長野で23団体「大集合」                                   | ながの環境団体大集合<br>スペシャルプロジェクトチーム                |
| 41                               | H30.1.20                                     | 長野市民新聞                      | 環境啓発イベントに若者参加   | ながの環境団体大集合<br>スペシャルプロジェクトチーム                |
| 42                               | H30.1.26                                     | 信濃毎日新聞                      | 希少種守る方策考える  | ぽんすけ育成PT                                    |
| 43                               | H30.3.17                                     | 長野市民新聞                      | 食の支援とネットワーク   | NPO法人フードバンク信州                               |
| 44                               | H30.3.17                                     | 長野市民新聞                      | ミールケアがCFで年間通した収穫体験 提供                                       | 株式会社ミールケア                                   |
| 45                               | H30.3.17                                     | 長野市民新聞                      | 松代・エドヒガン植栽事業 28日苗木掘り出し                                      | 小生物の育成環境保全PT                                |
| 46                               | H30.3.24                                     | 信濃毎日新聞                      | 松代のグループ 善光寺に桜奉納   | 小生物の育成環境保全PT                                |
| 47                               | H30.3.27                                     | 長野市民新聞                      | エドヒガン苗木 善光寺に奉納  | 小生物の育成環境保全PT                                |
| 48                               | H30.3.31                                     | 長野市民新聞                      | フードドライブ   官民協動組織   設立へ                                      | NPO法人フードバンク信州                               |
| -11.7                            | H30.4.1                                      |                             | クードドクーク   白以伽斯組織   成立・ヘーーーー    食品ロスを減らすために                  | NPO法人NPOホットライン信州                            |
|                                  | ⊓3U.4. I                                     | 広報ながの                       |   |   |
| 49                               | H20 4 4 0                                    | 信濃毎日新聞                      | 市民の森プロジェクトキノコの駒打ち体験   | 市民の森づくりPT                                   |
| 49<br>50                         | H30.4.13                                     | _ mz                        | ながの環境パートナーシップ会議 広告  | ながの環境パートナーシップ会議                             |
| 49<br>50<br>51                   | H30.4.15                                     | 長野市民新聞                      |   |   |
| 49<br>50<br>51<br>52             | H30.4.15<br>H30.4.19                         | 長野市民新聞                      | 市役所でフードドライブ 食品や洋服 多数寄贈                                      | NPO法人NPOホットライン信州                            |
| 49<br>50<br>51                   | H30.4.15                                     |                             |   |   |
| 49<br>50<br>51<br>52             | H30.4.15<br>H30.4.19                         | 長野市民新聞                      | 市役所でフードドライブ 食品や洋服 多数寄贈                                      | NPO法人NPOホットライン信州                            |
| 49<br>50<br>51<br>52<br>53<br>54 | H30.4.15<br>H30.4.19<br>H30.4.20<br>H30.5.19 | 長野市民新聞<br>信濃毎日新聞<br>長野市民新聞  | 市役所でフードドライブ 食品や洋服 多数寄贈<br>「ぽんすけ米」価格再検討へ<br>来月 3 日市内で河川の水質調査 | NPO法人NPOホットライン信州<br>ぽんすけ育成PT                |
| 49<br>50<br>51<br>52<br>53       | H30.4.15<br>H30.4.19<br>H30.4.20             | 長野市民新聞 信濃毎日新聞               | 市役所でフードドライブ 食品や洋服 多数寄贈 「ぽんすけ米」価格再検討へ                        | NPO法人NPOホットライン信州<br>ぽんすけ育成PT<br>NPO法人みどりの市民 |



# ながの環境パートナーシップ会議は

### 環境保全活動を推進していきます

# DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標







































2015(平成27)年9月に、ニューヨークで開催された「国連持続可能な開発サミット」において、 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。これは、人間や地球 の繁栄のため2030年までに達成するべき行動計画として掲げたものです。この目標が「持続可 能な開発目標(Sustainable Development Goals 略して SDGs(エスディージーズ))」であり、 これまでのアジェンダ21やミレニアム開発目標(MDGs)」などの理念と成果を土台に、豊かさを 追求しながら地球を守ることを呼びかける17の目標と169の行動計画で構成され、「誰一人取り 残さない」という理念のもと、環境問題と経済発展を両軸に、先進国、発展途上国を含めた全て の国々に持続可能な世界に向けての変革を求めています。

これを受け、日本では、2016(平成28)年5月に、「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を 設置し、同年12月には、実施指針を決定しています。実施指針では、「持続可能な強靭、そして 誰一人取り残さない、経済、社会、環境の総合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」こ とをビジョンに掲げ、政府が市民・事業者・NPO法人・行政と協力してSDGsの推進に取り組む ことを示しました。

ながの環境パートナーシップ会議では、「アジェンダ21ながの一環境行動計画―」による環境 保全の活動を実施していくとともに、このSDGsの目標達成に寄与するよう、市民・事業者・行政 が協働して、地域から地球規模につながる環境保全活動を推進していきます。



### 団体・企業も

# 新会員募集中!!

入会のお申し込み・お問い合わせ先

### ながの環境パートナーシップ会議 事務局

長野市環境保全温暖化対策課内 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

TEL.026-224-5034

FAX.026-224-5108

E-mail:kankyo@city.nagano.lg.jp http://www.nagano-ep.net/

こちらまで どうぞ。





入会申込書は、ながの環境パートナーシップ会議事務局に用意してあります。 また、本会のホームページからもダウンロードできます。必要事項をご記入の 上、事務局まで郵送、ファックス、電子メールでお送りください。

いつでも入会できます。会員になって、一緒に環境保全活動を進めましょう(年会費500円)。



### 長野市地球温暖化防止活動推進センター

〒380-0835 長野市新田町1513-2 (82プラザ長野) TEL 026-237-6681 FAX 026-237-6690 E-mail eco-mame@dia.janis.or.jp http://www.eco-mame.net/



ながの環境パートナーシップ会議 平成29年度活動成果報告書

### 「手をむすんで

平成30年10月発行

編集発行:ながの環境パートナーシップ会議・長野市地球温暖化防止活動推進センター

印刷·製本:蔦友印刷株式会社

